

令和 2年度

事務事業評価表 ( 令和元年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 2 年 4 月 15 日

事務事業名		茨城空港利用促進協議会参画事業					事業区分		担当		
							新規/継続	継続	事務事業No.	060305000282	
							単独/補助	単独		010201	
政策体系	総合計画の施策名		0603		時代に合った自治体運営				所属課	企画課	
	政策名		06		みんなで築く自治のまちづくり				課長名		
	施策名		03		時代に合った自治体運営				グループ	企画グループ	
	手段名		05		⑤広域連携の推進				担当者名		
財務会計上の位置付け							事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計				
	01	02	01	08	01	00	単年度繰返し (平成6年度~)				
法令根拠							企画事業				
							→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 当協議会は、茨城県、県内44自治体、県内関係団体及び企業等によって組織しており、構成団体が協力して、茨城空港の利用促進活動、現就航路線の増便と新規路線の就航推進活動、広報活動を主に行っている。 協議会の負担金は、幹事市町の水戸市・土浦市・石岡市・笠間市・つくば市・ひたちなか市・鹿嶋市・潮来市・かすみがうら市・行方市・鉾田市・小美玉市・茨城町・大洗町が450,000円、その他の市町村が60,000円となっている。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・総会、イベント等への参画と要望活動。 ・市広報誌、市ホームページ等による広報活動。 ・請求に基づく負担金の支払い。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・総会、イベント等への参画と要望活動。 ・市広報紙、市ホームページ等による広報活動。 ・請求に基づく負担金の支払い。	総会開催数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	要望活動実施数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
茨城空港	茨城空港	基	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
就航便の増便及び新規路線の就航。	国際線就航便数	便/周	11.00	11.00	12.00	12.00	12.00
	国内線就航便数	便/日	7.00	7.00	8.00	9.00	9.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	期間限定総投入量
		国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	60	60	60	60
		事業費計(A)	60	60	60	60
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人	

事業費の内訳	01年度事業費 実績 (千円)		02年度事業費 予算 (千円)	
	19 負担金補助及び交付金	60	19 負担金補助及び交付金	60
	合 計	60	合 計	60

事務事業名	茨城空港利用促進協議会参画事業	事務事業No.	60305000282	所属課	企画課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
当協議会は、当初、航空自衛隊百里飛行場を民間共用化の早期実現を目指し、百里飛行場民間共用化推進協議会として組織された。平成21年度に開港を控え、百里飛行場の名称の決定（「茨城空港」）と事業内容の拡大に伴い、平成19年6月26日より「茨城空港利用促進等協議会」に改められ、現在に至る。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
就航便の増便や空港ビルの来場者が増えていることから評価が高くなっていたが、スカイマーク社が1月28日に民事再生手続の申立てを行い、経営の抜本的再生を短期間で図る為には大胆な路線の見直しが必要との判断から、2月1日～3月28日までの茨城路線について一部運休させたことで、利便性が低下していると思われる。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 茨城県や県内の市町村と連携をし、広域的な取り組みを行うことは、政策体系と合致している。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 茨城空港の利用を促進することにより、桜川市を含む県内市町村に大きな経済効果が見込めることと、多くの市民が利用可能な空港であることから、公共の関与は妥当性である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 新規の就航及び既存路線の増便について、まだ可能性がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 県内全市町村が当協議会に参画しており、桜川市単独での脱退は連携による取り組みの枠が壊れる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 特になし。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費は、協議会が決定する負担金のみであり、削減は難しい。最小の人員で、必要最低限の事業を実施していることから、削減は難しい。	
⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 県内各地への来訪者の増加を目的としており、また市民が誰でも利用できる空港に関する事務事業であるため、公正・公平である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	・平成29年3月26日から那覇線が直行便になった。 ・空港ビルにおいて数多くのイベントを開催している。 ・令和2年に入り、コロナウイルスにより減便を余儀なくされている。 ・空港の愛称が「Tokyo・Ibaraki」にする提案がされている。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加	向上	維持		○		維持	低下				低下	低下			
成果		コスト																								
		削減	維持	増加																						
向上	維持		○																							
維持	低下																									
低下	低下																									
茨城県は知名度が低いとされており、「Tokyo」の名を冠につけてイメージアップを図っている。駐車場が無料であるため、利便性はよいと思われる。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>